

拡充するサービス

- ❖資料の貸し出し手続きのスピード化を図るため、自動貸出機を増設
- ❖講演会やセミナーなどを充実
- ❖学校司書や学校図書館ボランティア、読書ボランティアと協力し、学校図書館や地域の読書活動を支援
- ❖館内どこでも利用できるWi-Fi環境を整備
- ❖図書館司書に、児童担当の専門職員を配置
- ❖高校生や大学生などの、職業選択や進学に役立つ資料、地元企業の情報提供を強化
- ❖市の産業に関するものや職業選択、キャリアアップのための資格取得に役立つサービスを充実

など

新しい図書館で提供する予定の新たなサービスや拡充するサービスについて、次のとおり検討しています。

新しい図書館で、どんなサービスを受けられる？

新たなサービス

- ❖予約図書を自分で受け取るコーナーを設置



- ❖レファレンス(検索・相談)専用カウンターを設置



- ❖進学に関する資料の充実や就職活動・仕事に役立つ事業を企画



- ❖パソコンやタブレット端末を貸し出し、館内資料の検索などに活用

- ❖貴重な地域資料や古文書、古地図などをデジタル化し、保存・活用



- ❖利用しやすい通路の広さや余裕を持った休憩場所の配置

- ❖車いすでも図書館が利用できる書架・家具の配置



- ❖障がいのある人たちがくつろいで利用できる部屋を設置

みらいをつくる。図書館をつくる。



新花巻図書館のこれまでとこれから



現在市では、建設候補地ごとに事業費やイメージ図などを比較できる資料の作成を進めており、10月中旬に完成する予定です。資料完成後は、「対話型」による意見集約を進める予定で、その手法については決まり次第、広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします。

新しい図書館に関するこれまでの検討状況は、WEBサイト「新花巻図書館のこれまでとこれから」で詳しく見ることが出来ます。WEBサイトでは、新しい図書館についてのご意見なども募集いたしますので、皆さんの声をお寄せください。

現花巻図書館の蔵書は他の図書館に比べ、文学に関する書籍が多く、社会科学や自然科学などに関する書籍が少ないという特徴があります。新しい図書館では、現在の特徴を生かしながら、基本方針の一つ「暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館」の実現に向けて、先進図書館などを参考に蔵書構成を見直します。また、多様化、高度化する市民のニーズに対応するため、幅広い資料の収集に努めます。

新しい図書館は、どんな本が読める？

新聞
現在15紙

最大
35紙程度

雑誌
現在78タイトル

最大
300タイトル程度

学習や仕事に役立つ
専門誌や実用書、
ガイドブックなどの
蔵書を充実

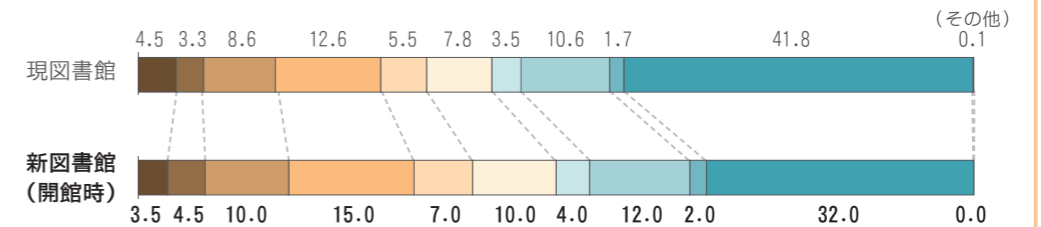
電子書籍の導入を検討

蔵書構成比の目標

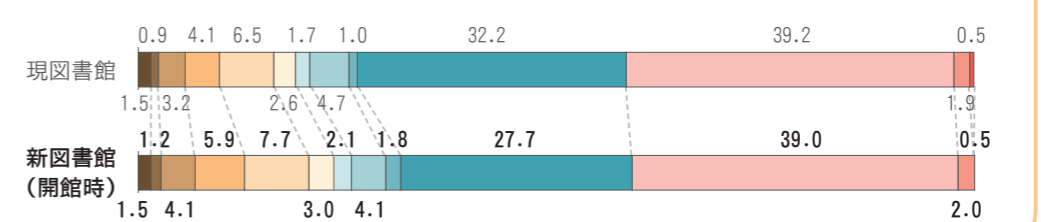
構成比の蔵書分類
(0~9類は日本十進分類法による)

- 0類 総記
- 1類 哲学
- 2類 歴史
- 3類 社会科学
- 4類 自然科学
- 5類 技術・工業
- 6類 産業
- 7類 芸術・美術
- 8類 言語
- 9類 文学
- 絵本
- 紙芝居
- その他

一般向け



子ども向け



宮沢賢治の図書や資料、花巻の先人や郷土資料を充実

- 館内に宮沢賢治コーナーを設置し、関係資料を集約
- 宮沢賢治に関する購入できる資料は可能な限り収集、保存、提供
- 論文など専門的で購入できない資料は、宮沢賢治イーハトーブ館と連携し、同館の蔵書を閲覧(複製・デジタル化)できるよう検討
- 『中学生のための花巻人物誌 探奮』に掲載されている、さまざまな先人に関する資料を収集

